

JIMTOF2012 学生向け企画



世界トップクラスの機械メーカーが集結する「JIMTOF2012」

JIMTOF
50 YEARS

第26回 日本国際工作機械見本市
26th JAPAN INTERNATIONAL MACHINE TOOL FAIR

JIMTOF2012

申込みは公式ウェブサイトから! www.jimtof.org

学生の来場者には、学生向けガイドブック「JIMTOF STUDENT GUIDE」を無料で配付します。

学生のためになるJIMTOFセミナー

工作機械トップセミナー ～ ようこそ夢のある工作機械の世界へ～

工作機械メーカー経営者やユーザー、若手技術者などを講師に迎え、ものづくりの中核を担う工作機械の重要性と魅力について幅広い視点からわかりやすく解説します。

参加
無料

11月4日(日) | 東京ビッグサイト 会議棟 7F 国際会議場 [要申込。定員250名。]
セミナー 13:00～16:45 (終了後に懇親会を実施) (定員になり次第締め切り)

講演1 知能ロボットによる無人機械加工工場への挑戦

講演者: 稲葉 善治 氏 ファンナック株式会社 CEO社長

講演2 スーパーコンピューター「京」誕生までの軌跡

講演者: 青木 孝 氏 富士通株式会社 次世代テクニカルコンピューティング開発本部 事業推進統括部長

講演3 風力発電分野における工作機械ユーザーから見た日本の工作機械

講演者: 西村 幸久 氏 三菱重工業株式会社 工作機械事業本部 技術部次長

講演4 工作機械メーカー若手女性技術者から学生へのメッセージ～削る難しさと魅力～

講演者: 中原 由佳 氏 オークマ株式会社 技術本部ソリューション開発センター

工作機械トップセミナーに関するお申込み・お問合わせ先 一般社団法人日本工作機械工業会 TEL:03-3434-3961 topseminar@jmtba.or.jp

JIMTOF2012”学生のための“ものづくり業界・企業研究プログラム

匠を目指すみんなへ! 『ものづくりの魅力と自分さがし』

ものづくりの魅力や製造業・工作機械産業および関連機器業界で働くことの魅力やものづくりを通じてのキャリアデザインについて、芝浦工大工学部機械工学科教授・同大学キャリアサポートセンター長、矢作裕司氏、戦略家 尾谷憲一氏を招きセミナーを開催します。

参加
無料

11月6日(火) | 東京ビッグサイト 会議棟 1F レセプションホール(B) [要申込。各回定員200名。]
午前部 10:00～11:30 / 午後部 13:30～15:00 (定員になり次第締め切り)

プロフェッショナルエンジニアになるためのキャリアデザイン

講演者: 矢作 裕司 氏 芝浦工業大学 工学部機械工学科 教授
(同大学キャリアサポートセンター長)



人生を有意義に過ごすパーソナルブランディング

講演者: 尾谷 憲一 氏 戦略家



会場内に同プログラム協賛企業のアンテナブースが設置される他、SNSを活用した場内探索型参加イベントも実施。

JIMTOF2012「ものづくり業界・企業研究プログラム」に関するお問合わせ先 (株)東京ビッグサイト JIMTOF事務局 TEL:03-5530-1333

JIMTOF2012 開催概要

名称	JIMTOF2012(第26回日本国際工作機械見本市)
開催日時	2012年11月1日(木)～11月6日(火)
開催時間	9:00～17:00
会場	東京ビッグサイト(東京国際展示場)
主催	一般社団法人日本工作機械工業会 株式会社東京ビッグサイト
入場料	一般: 当日 3,000円 / 前売 1,000円(税込) 学生: 無料(要学生証)

企画展示

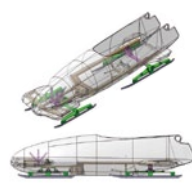
町工場が冬季オリンピックの舞台でフェラーリに挑む。

下町ボブスレー誕生物語

東展示棟1F ガレリア

「氷上のF1」とも呼ばれるボブスレー競技。強豪国のマシンは本家F1同様、イタリア代表ではフェラーリ、ドイツ代表はBMWが開発に協力しています。日本のモノづくりの力で、欧米の強豪に勝てるボブスレーマシンを開発したい。東京都大田区の町工場有志は、使い慣れた工作機械を駆使し、軽量なフレームと抵抗を極限まで減らしたブレードを開発しました。日本のモノづくりの底力と、世界に挑むコトづくりのワクワク感を形にしたマシンを展示します。

<協力: 下町ボブスレーネットワークプロジェクト推進委員会>



世界一の砲丸を作る匠の技

東展示棟1F ガレリア

アトランタオリンピックから3大会連続で、男子砲丸投げの金・銀・銅メダルを独占した砲丸は、埼玉県富士見市の町工場で作られています。職人の手作業により、汎用旋盤で一つ一つ作られた砲丸は世界一の砲丸と称賛されました。世界一の現役砲丸職人の匠の技に迫ります。

<協力: 有限会社社会工業、富士見市>



《 学生の入場について 》

学生の入場料は無料です。

当日、入場登録所にて学生証をご提示下さい。

「日本国際工作機械見本市」で ものづくりの根幹に触れてみよう

● 日本工作機械工業会・丑久保雅之さんにJIMTOFの魅力を知ろう

11月1日より、東京ビックサイトにて「第26回日本国際工作機械見本市」(JIMTOF2012)が開催される。学生になじみの薄い工作機械業界は、実は今後も将来性の高い有望業界。一般社団法人 日本工作機械工業会・技術部の丑久保雅之氏に理工系学生2名がJIMTOF2012および工作機械業界についてお話をうかがった。

工作機械はあらゆる製品の「母」

— まずはJIMTOFとは何かを教えてください。

800社もの企業が集まる最新の工作機械を発表する世界有数の展示会です。参加企業は日本を含む世界各国の工作機械メーカー、機械を構成する部品のメーカー、工具メーカー、ソフトウェアメーカーなどです。

世界の関係者が集まるので、最新機器や技術を披露したり、情報を収集できることが最大の魅力です。

日本の工作機械メーカーが影響力を持っていることもあり、世界の工作機械見本市の中でもJIMTOFは最新機器、最新技術のデビューの場という色合いが濃いのも魅力の一つですね。

— 工作機械業界って、どんな仕事をするのですか?

そもそも工作機械とは主に金属の材料を削って、形状に加工する機械のことです。これは「マザーマシン」とも呼ばれています。機械を生み出すための機械ですね。

生活に密着した部分を例にすると…自動車のエンジンは金属を削って作るため、工作機械がないと作れません。携帯電話の外側のデザインはプラスチックでできていますが、このプラスチックを携帯電話の形状にするためには金型が必要になり、金型は工作機械で作ります。また、工作機械を含めた様々な製造装置を作るにも工作機械が必要です。あらゆるモノを作る

原点が「工作機械」なのです。工作機械がないとわれわれの社会生活が成り立ちません。

世界中のあらゆるメーカーが顧客

— 工作機械に関する興味深いエピソードがあれば教えてください。

まず、工作機械メーカーの方から「あの製品の〇〇はうちの機械で作った」という話はよく聞きます。

最近では、最新ジェット旅客機の部品が日本のある工作機械メーカーの製品でしか作れないということで、テレビなどで紹介されたのが印象的でした。日本の工作機械メーカーさんには中小であってもそういう「オンリーワン技術」で、特定ジャンルの工作機械で世界トップの企業がたくさんあります。大小にかかわらず、このように胸を張れるのは素敵なことだと思います。

— 工作機械業界における日本企業の立ち位置は?

日本は世界のトップレベルです。日本の強みは技術力の高さにあります。コストパフォーマンスが高く、納期も早く、質が高い。機械なので故障することもあります。アフターサービスも充実しており、そこも評価される理由の一つです。日本がこれからもトップであり続けるためには優秀な人材が必要です。そのために多くの学生にJIMTOFに来てほしいですね。

— 学生にとってJIMTOFに行く魅力は何ですか?

2010年に行われたJIMTOFでは学生が約5000人来場しました。学生にとっての魅力は最新の工作機械を知れることと、今までの工作機械に対する古いイメージを払拭することができることだと思います。

— 今の学生の私たちが10年後、企業を中心にしたいと思います。メッセージを!!

10年後の展望としては、後進国も工業化が進み、工作機械の市場は拡大していきます。将来性という意味では、まだまだポテンシャルがある業界です。グローバル化もますます進んでいくでしょう。

工作機械業界の魅力は「あらゆる業界に携わることができて、やりがいがあること」だと私は思っています。あらゆる製造業がユーザーとなるので、幅広い技術に興味を持ち、工作機械に取り入れて進化させてほしいです。基本的な勉強をしっかりとやりつつ、幅広い視野や興味を持つことを大事にしてください!

取材を終えて — 学生の感想

浅尾 祐美 さん (早稲田大学理工学部3年)



私は工作機械について全く知らないうちに今回のインタビューに臨んだのですが、日本が世界をリードできる勢いのある分野なのだと知ることができました。普段見ることができない工作機械も、JIMTOFに行けば、様々なデモンストレーションも含め、学生は無料で見られるということなので、このインタビューで興味の湧いた方はぜひJIMTOFへ足を運んでみてくださいね!

小澤 凌太 くん (中央大学理工学部4年)



このインタビューを行うまでJIMTOFというイベントについて何も知りませんでした。世界でも有数の大イベントであるということが丑久保さんの説明からひしひしと伝わってきました。丑久保さんが未来の展望について非常に明快に語っているのを見て、日本の産業にもまだまだ勢いがあるという事実に非常に元気づけられました。普段は目にするのでない工作機械業界ですが、JIMTOFなどのイベントなどで業界に触れることによって視野を広めることが文系・理系問わず重要なことなのではないかと思っています。



日本工作機械工業会・丑久保雅之さんと理工系学生たち